

議員質問への対応調書

整理番号 021204

令和2年12月定例会	会派名	会派新生		担当部	企画推進部
	議員名	上杉 栄一		担当課	文化交流課
質問・答弁月日	12月 8日				
質問形態	代表	関連	(各個)		(追及)
質問事項	1 本市の文化・芸術のまちづくりに関連して (6) 民間ミュージアムの本市の関わりと支援策について				
<p>【質問要旨】</p> <p>民藝館通りとしている界隈、鳥取民藝美術館・たくみ工芸店・たくみ割烹店・童子地藏堂に旧吉田医院を加え、観光文化の拠点として活用策・支援策について伺う。</p>					
<p>【答弁要旨】</p> <p>ご紹介のあった吉田璋也氏は、鳥取における新作民藝運動の先駆者として多くの業績を残した方であり、本市の名誉市民でもあります。旧吉田医院は、医師であった吉田氏が営んでいた医院であり、現在の建物は、昭和27年の鳥取大火で焼失後、同年、吉田氏自らの設計により再建されたものです。外観は日本風の土蔵造り、内部はさまざまな民族の様式を取り入れているほか、診療台や椅子などの家具類も吉田氏の設計によるものであり、本市の貴重な歴史・文化資源の一つであると考えます。</p> <p>鳥取民藝美術館をはじめ、吉田氏に関連する施設が集まる通称「鳥取民藝館通り」一帯は、鳥取の民藝を語るうえで欠くことのできない文化的なエリアであるとともに、JR西日本の豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風（みずかぜ）」の乗客の立ち寄り先となるなど、観光スポットにもなっており、旧吉田医院を新たに活用することにより、一帯の活性化を図ることも検討する必要があるのではないかと考えます。</p> <p>本市としては、仮に旧吉田医院を観光・文化的に保存・活用する場合、民間主導を基本としつつ、鳥取民藝館通り一帯の活性化をめざすことが肝要であると考えており、具体的な活用・支援策については、今後、関係者の方々と協議を行っていきたいと考えます。</p>					
【対応方針・進捗状況】		検討中			
<p>■対応方針</p> <p>民間主導による周辺地域との一体的な取組を基本に、活用・支援策について関係者と協議を進めていきます。</p>					
<p>■進捗状況</p> <p>官民で構成する検討組織の設置に向けて、関係者と協議を行っていく予定です。</p>					
更新日：令和3年1月15日					